

平成 24 年度決算における剰余金について

1 平成 24 年度剰余金の額
 1,095,306,409 円

2 平成 24 年度の剰余金について (※以下、金額は対予算比)

平成 24 年度は、大学部門における医師や看護師等医療人材の輩出に向けた医学教育への積極的な投資や、附属 2 病院における市民が安心出来る地域医療への貢献として、高度で安全な医療を提供してきました。また、法人全体として東日本大震災を契機とした東京電力の電気料金値上げによる光熱水費の大幅な増加に対応するなど、**厳しい法人経営が迫られた状況の中でも、収支改善に向けた更なる取組**を行いました。

特に附属病院・センター病院における効率的・効果的な運用による診療収益の増収や、大学部門における研究費等の外部資金獲得の自己収入の増加など、積極的に取り組んだことにより、**前年度決算を上回る剰余金を生み出すことができました。**

24 年度における、具体的な取組としては、

- ・附属病院及びセンター病院における**病床の効率的な運用や平均在院日数の短縮、手術件数の増加など、入院診療収益の増**（+約 4.8 億円）
- ・附属病院において**がん治療における外来化学療法等の実施**や、センター病院において**高額医薬品を必要とする患者数の増**などによる**外来診療収益の増**（+約 7.7 億円）
- ・保守・委託業務等に係る仕様の精査による**診療経費の縮減**（▲4.6 億円）

<参考>

項目	附属病院			センター病院		
	指標	24 予算比	23 決算比	指標	24 予算比	23 決算比
病床利用率	90.8%	+0.8%	+2.1%	89.8%	▲0.3%	▲0.4%
平均在院日数 (※)	15.7 日	△0.3 日	△0.7 日	14.1 日	△0.7 日	△0.7 日
手術件数	5,727 件	▲38 件	+464 件	7,341 件	+141 件	+186 件
外来患者数	1,902 人	▲30 人	▲16 人	1,970 人	+53 人	+5 人
外来単価	13,727 円	+750 円	+726 円	14,724 円	+655 円	+729 円

(※) 平均在院日数は、日数が短縮されると経営効率化が図られているという一つの指標であるため、短縮している場合には△で表示しています。

- ・科学研究費等の外部資金獲得拡大による**間接経費等収入の増**（+約 1.1 億円）
- ・大学部門において知的財産を活用した**生涯学習講座の回数を増加させる**など、積極的な収入確保に取り組んだことによる**増**（+約 0.1 億円） 等

教員、職員それぞれの取組が実を結んだ結果、生み出された剰余金であり、法人の経営努力から生じたものと考えております。

なお、上記剰余金については、本学が速やかに対応する必要がある、**教育、研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善の取組**に活用したいと考えております。